

給与原票記入例

※給与原票提出後に、新たに職に就いた等で記載が変更になる場合は、給与原票の訂正が必要。

- 黒のボールペンで記入(記入誤りは二重線で修正すること、消せるボールペンは使用不可)の上、押印せず提出してください。
 - 用紙が不足する場合には、あらかじめコピーして使用してください。
 - 介助員、教育補助員、教育支援員等で区分欄の判断が難しい場合は、
区分欄の斜線は、記入しないでください。

採用予定の職名を記入する。

ふりがなを記入する。

右上の記入欄に**登載者番号**を記入する。→（例）A00123

授与された免許状を全て記載する。
取得見込の場合は、授与年月日は記入しない。

最終卒業学校の在学年数を記入する。

登載者番号 A00123

所有する免許状の種類に○、又は付記等してください

所属名	記入しない	職名	教諭	氏名	ふりがな ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ 昭・平 57年 5月 1日生(男・女)	職員番号	記入しない	免許状	種類	教科(科目)	授与年月日							
所属コード									小学校 専修・1種		H20・3・25							
採用年月日	令和8年 4月 1日	最終卒業学校名	○○大 学校 (4年制) 昭・平・令20年 3月 25日(5年)卒・修	教育学部 教科教育				中学校 専修・1種	音楽()	H20・3・25								
年号	平	年	7 10 13 15 20 20 23 25 26 26 26 27 27 27 28 28 28 28 29 8	年				高等学校 専修・1種	音楽()	H20・3・25								
区分	月	3 3 3 4 3 4 10 9 3 4 4 3 3 4 10 3 1 31 2 6 26 31 2 1 31 1 31 8 1 1	月					盲・ろう・養 専修・級									
学	教	合致する。										「令8.4.1採用」は必ず記入する。						
民 教																		
官 公 庁																		
民 職																		
純 民																		
経験年数																		
経歴内容 (具体的に)	小学校卒	□ □ 中学校卒	△△ 高等学校卒	○○ 大学入学	○○ 大学卒	○○ 受講 ○○ 受講終了 △△ 商事入社	○○ 受講 ○○ 受講終了 △△ 大学聴講生	○○ 受講 ○○ 受講終了 △△ 商事退社	○○ 非常勤講師 ○○ 町立 ○○ 市青少年指導員 (週10時間)	○○ 県臨立採教 ○○ 町立 ○○ 高校	同左任用期間更新	同左任用期間満了	ピアノ講師 (自営)	同左廃業	県臨立採教 ○○ 実習高教 ○○ 高校	私臨立採教 ○○ 実習高教 ○○ 高校	採用	同時期に複数の職歴がある場合も、全て記入する。
区分	教	教(非)	民教	官公庁	民職	純民	学	学	計	学歴区分	経験年数の調整	決定給 (次回) 次回	職()					
経験年数										2/2	・ ()		級	号給				
換算率											・ ()							
有効経験年数										標準修	記入しない		記入しない					
備考	引き続いて在学していない場合は、入学年月日を記入する。 通信教育の場合も純民に記入する。										非常勤講師の場合は必ず、県費又は市町村費かを記入し、週当たりの授業時間数を記入する。(ただし、勤務時間制勤務の場合は、勤務時間数を記入する。)							
											了承の上、レ点を記入してください。							